

関係人口キックオフセミナー 次第

【日 時】 2021年6月4日（金） 19：00～21：00

【趣 旨】

- 関係人口の取組に興味のある県内の地域（地域組織、地域づくり団体等）自治体職員、中間支援組織等を対象に、関係人口の基本的な考え方や関係人口を創出することで地域にどのような変化が生まれるのかなどを学んでいただく。
- また本セミナー参加者等の中から、実際に関係人口創出の取組を進めてみたいという地域に声をあげていただき、令和3年度にいがたイナカレッジと連携した関係人口プログラムの実践へとつなげていく。

【タイムスケジュール】

- 19：00～19：05 あいさつ・本日の流れ等説明
- 19：05～19：55 講演：「関係人口が与える地域の前向きな変化」
講師：小田切徳美氏（明治大学農学部教授）
- 20：00～20：45 事例報告
—出雲崎町 大釜谷集落
—柏崎市 矢田集落
- 20：45～21：00 事務連絡等（R3年度の関係人口事業の説明等）

セミナー終了後、参加者アンケートへのご協力をお願いいたします。
下記アドレスからアンケートフォームに必要事項をご記入ください。

<https://forms.gle/fxUjdnFWqa4v8aEq9>

【講師紹介】

小田切 徳美 氏（明治大学農学部教授）

—神奈川県生まれ。農学博士。高崎経済大学助教授、東京大学助教授等を経て、2006年より現職。日本学術会議会員、日本地域政策学会会長。専門は、農村政策論、地域ガバナンス論。国内外の農山村地域を歩き、集落レベルから国の政策レベルまでの実態を研究し、過疎や限界集落等、農村問題の専門家として政府の各種審議会の委員などをつとめ政策提言を行っている。著書に『日本農業の中山間地帯問題』『農山村は消滅しない』『農山村からの地方創生』（共著）『世界の田園回帰』（共編著）など多数。

出雲崎町大釜谷集落

—にいがたイナカレッジのプログラムを通じて、大学生3人を1か月間受け入れたことをきっかけに、現在は耕作放棄となっている梅畑を町外の20～30代十数人が集落に通って管理するとともに、これらの取組のなかでR3.4に20代女性が集落内の空き家に移住。

柏崎市矢田集落

—にいがたイナカレッジの1か月間のインターンシップを通じて3人の大学生を受入。学生が集落に滞在しながら地域づくり活動と一緒に行ったことで地域が盛り上がり、その後矢田集落として地域おこし協力隊を受け入れ、現在2名の協力隊が活動している。